

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		男女共同参画まちづくり講座事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	総務課	担当者名 岡本貴子
	基本事業	74	男女共同参画社会に対する理解の促進	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1218
				法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	⑤
	1	2	1	15	10905			コスト削減優先度評価結果	⑨
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
男女共同参画推進の一環として、市民・企業等を対象に、啓発イベントを実施。
・第1回:男女共同参画まちづくり講座「講演会」…熊大教授 鈴木圭樹氏
・第2回:合志市男女共同参画気づきうなぎフェスティバル…オープニングコンサート、寸劇、男女共同参画昔話、講演会

【業務の流れ】
・懇話会を開催し、その中で啓発イベントの講師等の内容を検討する。
・市長決済により実施を決定。 ・チラシ等で参加者を募る。 ・講座の開催準備・実施・かたづけ
・アンケートの集約 ・懇話会を開催し、実施結果を振り返る

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)
同上	20年度と同様	同上
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民(18歳以上)	→ ア 男女共同参画まちづくり講座開催回数 回	→ ア 18歳以上の市民 人
イ 男女共同参画まちづくり講座参加者数 人		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)
・男女共同参画の重要性を認識できるようになる。 ・生活に活かしていくようになる。	→ ア 男女共同参画の重要性を認識できたと答えた参加者数と割合 %	→ ア 男女共同参画について正しく理解している市民の割合 %
イ 生活に活かしていこうと思った人の割合 %		
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)		
・市民、事業所、市外からの通勤、通学者が男女共同参画について正しく理解するようになる。		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		～ 年度
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト	
	都道府県支出金	千円	40	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	559	728	329	293	329	329		329
	(A) 事業費計	千円	599	728	329	293	329	329		329
人件費	うち指定経費	千円							タ ル コ ス ト の み 記 載	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	正規職員従事人数	人	4	4	4	119	4	4		4
	延べ業務時間	時間	960	900	1,627	800	800	800		
	(B)人件費計	千円	3,811	3,582	3,582	6,475	3,184	3,184	3,184	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,410	4,310	3,911	6,768	3,513	3,513	3,513	

活動指標	ア 回	3	2	2	2	2	2	2	目 標 合 計 数 計 画
	イ 人	1000	1100	1150	1150	1200	1200	1250	
対象指標	ア 人	42188	43377	44000	43595	44500	45000	45500	
	イ 人								
成果指標	ア %	未把握	91.5	92	91	92.5	93	94	22 年 度
	イ %	未把握	66	67	74	69	70	71	
上位成果指標	ア %	41.9	36.5	58	51	62	65	68	
	イ %								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
11年、国が男女共同参画社会基本法を制定。これにより自治体の推進義務が発生し、講座を予算化。18年度の合併により、統合して講座を継続実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
法律や制度上ではかなり達成されてきたように見えるが、社会の現状を見ると依然として固定的役割分担等の課題は多い。そんな中、合志市男女共同参画まちづくり条例が平成19年9月に制定され、合志市の責務が発生し、より積極的に取り組まなければならなくなった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
①講座のアンケートでは、「男性の参加が少ない」「同じ顔ぶれが多い」との意見があがっているが、確実に参加者は増え、「参加してためになった」と答えた市民は増加した。

事務事業名	男女共同参画まちづくり講座事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ ・男女共同参画の重要性を認識することにより、性差別がなくなり、人権が尊重される社会づくりに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 男女共同参画社会基本法により自治体の責務が謳われており、かつ、性差別が現に社会に存在しているため、男女共同参画の重要性の認識をもつ市民、生活に活かしていく市民が増えていく必要があり、講座をとおしてその認識と取り組みができるようになるのは、市として妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 児童生徒に対しては学校教育の中で実施し、当事業においては18歳以上の市民を対象にする。事業所も対象として今後も必要。意図も現状も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ①講師の選定により、内容にバラツキがある。 ②参加者が固定化しているため、広がりが少ない。 ③男性の参加者が少ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 男女共同参画の意識の向上が停滞する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ○人権啓発課・生涯学習課人権教育係があり、その中で男女共同参画の啓発推進に取り組める。その取り組みでの連携は可能。 ○他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 講師謝金、花代、看板代を浮かすことができる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 係の連携により人件費が削減化できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 全市民に呼びかけ、人権が尊重される社会づくりに寄与している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、妥当である。 ②有効性については、有効である。 ③効率性については、効率的である。 ④公平性については、公平である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・啓発は、個々人の心の中を変革しなければ意味がないが、ある意味行事消化にのみながちである。しかし、今後は、アンケートの質問内容、回答者を増やす取り組み、意見集約、意見に対する対処等の実践が重要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	3	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)